



## 平成26年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年10月1日

上場会社名 株式会社 さが美 上場取引所 東  
 コード番号 8201 URL http://www.sgm.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平松 達夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役(業務担当) (氏名) 宿野 大介 TEL 045-820-6002  
 四半期報告書提出予定日 平成25年10月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年2月期第2四半期の連結業績（平成25年2月21日～平成25年8月20日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第2四半期	11,257	△9.4	△312	—	△285	—	△391	—
25年2月期第2四半期	12,421	△3.0	△306	—	△291	—	△388	—

(注) 包括利益 26年2月期第2四半期 △366百万円 (—%) 25年2月期第2四半期 △374百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第2四半期	△9.86	—
25年2月期第2四半期	△9.77	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第2四半期	13,713	7,247	52.9
25年2月期	13,210	7,615	57.6

(参考) 自己資本 26年2月期第2四半期 7,247百万円 25年2月期 7,615百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年2月期	—	0.00	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年2月期の連結業績予想（平成25年2月21日～平成26年2月20日）

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,230	△3.1	△145	—	△150	—	△365	—	△9.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年2月期2Q	40,834,607株	25年2月期	40,834,607株
② 期末自己株式数	26年2月期2Q	1,129,529株	25年2月期	1,119,208株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年2月期2Q	39,710,488株	25年2月期2Q	39,734,820株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アベノミクス効果や衆参ねじれ解消等を受け、円安・株高と企業業績の改善兆候が続いており、概ね活発な状況を呈しております。個人消費におきましても、年初より見られる小売環境改善の兆しも継続しており、大手小売業における販売指標や百貨店における高額品販売なども、堅調な推移を示しております。しかしながら、シリア情勢や消費税引き上げの実施判断等によっては、今後の国内外の景気動向が大きな影響を受けるおそれもあり、先行きの見通しは不透明になっております。

当社グループにおきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年実績に対し90.6%（11億55百万円減）になりました。これは、前年10月に㈱九州さが美を売却したことによる15店舗減少の影響が5億40百万円ある他、㈱さが美、㈱東京ますいわ屋の店舗も前年同月比で16店舗減少したところによるところが大きく、既設店前年比では販売契約高で100.3%、売上高は99.2%になっております。

きもの事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の販売契約高が既設店前年比101.4%、売上高が既設店前年比100.1%と改善いたしました。加工中などにより未納品の受注残高も前年比1億17百万円増加となっておりますので、今後納品が進めば、売上高も一層改善してくる見込みです。㈱さが美のきもの事業におきましては、前年に能登加賀屋にておこなった展示販売会の分析をふまえて、当連結会計年度より40周年特別企画と銘打ち新たに京都一寧坂で行っている優良顧客向け展示販売会が、お客様に大変好評でした。また例年熱海温泉等において実施しております、宿泊総合展示販売会におきましても、会場成約高ならびに客単価が前年実績を大きく上廻ることができました。店舗で展開している40周年記念商品の販売も好調に推移いたしました。これら40周年企画の成功によって、荒利益率も改善しております。

㈱東京ますいわ屋におきましても、展示販売会をはじめとする経費の圧縮と荒利益率の改善に努めた結果、店舗数は前年比1店舗減少し、販売契約高、売上高は前年をわずかに下廻ったものの、利益面では改善いたしました。

ホームファッション事業におきましては、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年比で79.1%、既設店前年比でも93.9%と下廻りました。これは前年に比較し店舗数が11店舗減少したことと、既設店においても客数減少によって売上ダウンを招いたためです。また、第1四半期連結累計期間に実施いたしました閉路店セールにおける販売値引きにより、荒利益率が低下したことも響きました。

店舗面におきましては、きもの事業については当第2四半期連結累計期間における出店、閉鎖はありませんでした。ホームファッション事業は業態の変更により2店舗を出店、契約満了により3店舗を閉鎖いたしました。これにより当第2四半期連結会計期間末における店舗数は、㈱さが美223店舗、㈱東京ますいわ屋46店舗、グループ合計で269店舗となっております。また業態別店舗数は、きもの事業206店舗、ホームファッション事業63店舗、となっております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益112億57百万円（前年同四半期比9.4%減）となり、利益面においては、営業損失3億12百万円（前年同四半期比6百万円の悪化）、経常損失2億85百万円（前年同四半期比6百万円の改善）、四半期純損失3億91百万円（前年同四半期比3百万円の悪化）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、137億13百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億2百万円増加しました。これは主として、長期差入保証金の回収による減少はあるものの、商品や預け金が増加したことによるものであります。

負債については、64億65百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億70百万円増加しました。これは主として、短期借入金が増加したことによるものであります。

純資産については、72億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億67百万円減少しました。これは主として、四半期純損失を計上したことなどによるものであります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の景気動向につきましては、アベノミクスに続く五輪招致効果等、景気改善傾向が続く見込みではありますが、シリア情勢や消費税引き上げの実施判断等、予断を許さない状況も抱えており、先行きの見通しは不透明になっております。

当社グループといたしましては、引き続き40周年企画を確実に成功させるとともに、ホームファッション事業の早期回復に努めて、計画の着実な達成を図ってまいります。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間から、平成25年2月21日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しております。

当社グループは親会社であるユニークグループ・ホールディングス株式会社の支援のもと、きもの事業を核とした事業の再構築および経営コストの構造改革等の再建計画を策定し、平成21年2月期以降構造改革を進めておりましたが、きもの事業を取り巻く環境が引き続き厳しい状況にあり、東日本大震災の影響を受けた平成24年2月期連結会計年度に引き続き、前連結会計年度においても営業損失を計上しており、当社が将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象または状況が存在しています。

このような状況に対して、当社グループは、販売スタッフ教育の強化と徹底により、基本的な接客のマナーおよび技術と、きもののお手入れを軸とした専門知識の向上を図るとともに、商品部門による付加価値の高い商品の開発と提案により、お客様の満足度向上を図り顧客化を深化させることによって、当該状況の解消に取り組んでまいります。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	572,701	677,792
受取手形及び売掛金	1,024,832	1,076,514
商品	2,051,932	2,220,525
貯蔵品	55,369	7,321
その他	1,232,737	1,347,101
貸倒引当金	△660	△660
流動資産合計	4,936,912	5,328,595
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	351,009	410,020
土地	3,151,249	3,151,249
その他(純額)	54,060	77,249
有形固定資産合計	3,556,319	3,638,519
無形固定資産	18,219	33,960
投資その他の資産		
差入保証金	3,021,977	2,895,974
その他	1,820,735	1,949,769
貸倒引当金	△143,584	△133,515
投資その他の資産合計	4,699,128	4,712,228
固定資産合計	8,273,667	8,384,708
資産合計	13,210,579	13,713,303

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年8月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,091,543	1,172,493
短期借入金	—	800,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,000,000
未払法人税等	191,064	102,549
前受金	1,261,470	1,375,090
賞与引当金	21,200	24,000
資産除去債務	22,018	1,499
その他	1,032,481	1,003,594
流動負債合計	4,619,779	5,479,226
固定負債		
退職給付引当金	448,309	420,931
資産除去債務	335,800	344,637
その他	190,989	220,746
固定負債合計	975,099	986,315
負債合計	5,594,879	6,465,542
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,217,235	9,217,235
資本剰余金	405,057	405,057
利益剰余金	△1,175,408	△1,567,006
自己株式	△348,102	△349,265
株主資本合計	8,098,782	7,706,021
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,277	92,099
土地再評価差額金	△550,359	△550,359
その他の包括利益累計額合計	△483,081	△458,259
純資産合計	7,615,700	7,247,761
負債純資産合計	13,210,579	13,713,303

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
売上高	12,324,482	11,168,510
売上原価	5,523,631	4,905,536
売上総利益	6,800,851	6,262,974
営業収入	96,631	88,660
営業総利益	6,897,482	6,351,635
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	2,784,403	2,587,136
賞与引当金繰入額	25,700	24,000
退職給付費用	158,100	78,510
賃借料	1,660,503	1,515,492
その他	2,574,843	2,459,343
販売費及び一般管理費合計	7,203,551	6,664,482
営業損失(△)	△306,068	△312,847
営業外収益		
受取利息	125	115
受取配当金	3,395	3,550
仕入割引	12,324	11,800
受取補償金	2,902	7,950
その他	10,723	14,755
営業外収益合計	29,470	38,172
営業外費用		
支払利息	8,391	8,639
支払補償費	4,300	—
その他	2,470	2,259
営業外費用合計	15,162	10,899
経常損失(△)	△291,760	△285,574
特別利益		
固定資産売却益	—	70
投資有価証券売却益	—	704
店舗閉鎖損失戻入益	—	18,465
特別利益合計	—	19,239
特別損失		
固定資産除却損	2,583	7,021
減損損失	1,010	28
特別損失合計	3,594	7,050
税金等調整前四半期純損失(△)	△295,354	△273,384
法人税、住民税及び事業税	91,864	78,314
法人税等調整額	930	39,898
法人税等合計	92,795	118,213
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△388,149	△391,598
四半期純損失(△)	△388,149	△391,598



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年8月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年2月21日 至平成25年8月20日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△388,149	△391,598
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,059	24,822
その他の包括利益合計	14,059	24,822
四半期包括利益	△374,090	△366,775
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△374,090	△366,775
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。